

「今後の尼崎市立幼稚園のあり方について報告書」訂正箇所 一覧

【はじめに(1頁)】

No.	頁	段落・行	第6回資料 報告書(案)	第7回資料 報告書(案)	備考
1	1	1段落 2行目	・・・、現在、尼崎市では、市立の幼稚園と保育所、法人立の幼稚園と <u>保育園</u> 、法人立の認定こども園が、・・・	・・・、現在、尼崎市では、市立の幼稚園と保育所、法人立の幼稚園と <u>保育所</u> 、法人立の認定こども園が、・・・	第6回検討会での協議を踏まえて修正
2	1	2段落 2行目	・・・、特設学級の全園設置や幼稚園・ <u>保育所(園)</u> と小学校の滑らかな接続に向けた教員間の連携推進等、・・・	・・・、特設学級の全園設置や幼稚園・ <u>保育所</u> と小学校の滑らかな接続に向けた教員間の連携推進等、・・・	第6回検討会での協議を踏まえて修正
3	1	3段落 3行目	・・・、また、一方では、特別な支援が必要な幼児の入園割合が増加傾向にある中、 <u>特別支援児</u> に係る受入枠の廃止や入園基準の見直し等、・・・	・・・、また、一方では、特別な支援が必要な幼児の入園割合が増加傾向にある中、 <u>これらの幼児</u> に係る受入枠の廃止や入園基準の見直し等、・・・	第6回検討会での協議を踏まえて修正
4	1	6段落 1行目	・・・、本検討会では、こうした社会情勢の大きな変革に加え、 <u>尼崎市固有</u> の課題を踏まえる中で、・・・	・・・、本検討会では、こうした社会情勢の大きな変革に加え、 <u>尼崎市</u> の課題を踏まえる中で、・・・	第6回検討会での協議を踏まえて修正

【市立幼稚園の現状について(2-4頁)】

No.	頁	段落・行	第6回資料 報告書(案)	第7回資料 報告書(案)	備考
5	3	「4」 4行目	・・・、市立幼稚園への <u>就園割合</u> は4.5% (470人) となっていることから、・・・	・・・、市立幼稚園への <u>就園率</u> は4.5% (470人) となっていることから、・・・	第6回検討会での協議を踏まえて修正
6	4	「6」 2段落目	(新設)	<u>そのような中、幼児教育の質の向上を目的とした近年の制度改正については、幼児教育施設における教育等の内容の基準である幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(以下「幼稚園教育要領等」という。)が平成29年3月に告示され、「子供に育みたい資質・能力等(※)」を共通化して明確にするなど、3歳以上の子どもにおける教育等の内容について一層の整合性が図られたところであり、平成30年度から新幼稚園教育要領等に基づいた現場での実践が始まっている。</u> <u>(※)「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」</u>	第6回検討会での協議を踏まえて追記
7	4	「6」 3段落目	・・・、3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園等の保育料が無償化される等、近年における幼児教育を巡る国の政策は大きな動きを見せている。	・・・、3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園等の保育料が無償化されるほか、 <u>児童虐待や貧困問題など、子どもを巡り、複雑化する政策課題に総合的に対処するため、複数の省庁にまたがる政策を一元化して所管することを目指す「こども家庭庁」の創設に取り組む等、近年における幼児教育を巡る国の政策は大きな動きを見せている。</u>	第6回検討会での協議を踏まえて追記

【幼稚園教育振興プログラムに掲げる6つの柱の現状分析について(5-10頁)】

No.	頁	段落・行	第6回資料 報告書(案)	第7回資料 報告書(案)	備考
8	5	「1」 【取組み】 1つ目 1段落 3-4行目	・・・、 <u>幼児の資質能力ごとに育ちをみとり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校以降の教育につなげていく等、先進的な取組である神戸大学附属幼稚園作成の教育課程を参考に附属幼稚園指導の下で、テーマを設けた研究実践が行われている。</u>	・・・、 <u>幼児の資質能力ごとに育ちをみとり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校以降の教育につなげていく等、先進的な取組等を参考に、テーマを設けた研究実践が行われている。</u>	第6回検討会での協議を踏まえて修正
9	6	「2」 1行目	幼稚園から小学校への学びの連続性を <u>大切し</u> 、幼稚園から小学校への滑らかな接続を図っていくため、・・・	幼稚園から小学校への学びの連続性を <u>大切に</u> し、幼稚園から小学校への滑らかな接続を図っていくため、・・・	脱字修正
10	7	「3」 3行目	・・・、特設学級を全園に設置し、 <u>通常児と特別支援児</u> による混合保育を中心とした教育を継続実施するとともに、・・・	・・・、特設学級を全園に設置し、 <u>通常児と特別な支援が必要な幼児</u> による混合保育を中心とした教育を継続実施するとともに、・・・	第6回検討会での協議を踏まえて修正
11	7	「3」 【取組み】 1つ目 2段落 1行目	・・・、 <u>特別な支援が必要な幼児一人ひとりの成長、発達状態や特性に応じた適切な指導・必要に応じた支援が行われている。</u>	・・・、 <u>特別な支援が必要な幼児一人一人の成長、発達状態や特性に応じた適切な指導・必要に応じた支援が行われている。</u>	第6回検討会での協議を踏まえて修正
12	8	「3」 【取組み】 2つ目	<u>平成27年度より養護教諭を全園に配置(プログラム策定時は6園のみ配置)し、特別支援教育のコーディネーターとして、発育や発達に関する専門性を活かし、幼稚園に在園する特別な支援が必要な園児に対する援助、補助を行うほか、各園で個別懇談を実施する等に取り組まれている。</u>	<u>特別支援教育における質的な向上策として、特別支援担当教員とともに、平成27年度より全園に配置された養護教諭においても、発育や発達に関する専門性を活かしながら、幼稚園に在園する特別な支援が必要な幼児に対する援助、補助が行われている。</u>	第6回検討会での協議を踏まえて修正
13	8	「3」 【評価】 2つ目	<u>全園に配置された養護教諭は、その専門性を活かし、各園で個別懇談を実施する等、幼児一人一人の特性に応じた相談体制の構築が図れた等、一定の成果が見られた。</u>	<u>教員のみならず、全園に養護教諭が配置されたことで、発育や発達に関する専門性を活かしながら、幼児一人一人の特性に応じたきめ細やかな支援体制が構築できた。</u>	第6回検討会での協議を踏まえて修正

14	8	「4」 【取組】 2つ目 1行目	近年、通常学級と特設学級との狭間にある <u>ボーダー児</u> が増加している現状を踏まえ、……	近年、通常学級と特設学級との狭間にある <u>幼児</u> が増加している現状を踏まえ、……	第6回検討会での協議を踏まえて修正
15	8	「4」 【評価】 1つ目 1段落 1行目	……、特別支援教育専門相談員から、 <u>幼児一人ひとりの発達</u> に今どのような支援が必要であるのかを専門的な見地から意見を聞くことで、……	……、特別支援教育専門相談員から、 <u>幼児一人一人の発達</u> に今どのような支援が必要であるのかを専門的な見地から意見を聞くことで、……	第6回検討会での協議を踏まえて修正
16	9	「4」 【評価】 2つ目 3段落 2行目	……、継続的な相談を希望する保護者ニーズが増大している状況にあるため、相談体制の一層の充実が必要であることを確認した。	……、継続的な相談を希望する保護者ニーズが増大している状況にあるため、 <u>地域や在園児の保護者への事業内容等の周知をはじめ</u> 、相談体制の一層の充実が必要であることを確認した。	第6回検討会での協議を踏まえて修正

以上